

オゾン・紫外線・光触媒の3つを一体化させヒドロキシルラジカルを発生

単独作用の数倍の相乗効果で除菌、水に溶けた有機物を分解
除菌後、オゾンは酸素に変化し、溶存酸素の高い養液として作物の生育を促進

促進酸化処理法[AOP]を用いた水処理装置

ピュアキレイザー[®]

特徴

培養液の伝染性病害を予防

地下水・雨水・河川水の除菌・浄化

培養液中に植物に必要な溶液酸素を富化

アオコの発生を抑制

廃液の再利用

栽培時の老廃物(有機物)を分解

促進酸化処理法[Advanced Oxidation Processes]とは?

オゾン・紫外線・触媒などの物理科学的な処理手法を併用する事でOHラジカル(ヒドロキシルラジカル)などの協力的な酸化力を持つ活性ラジカル種を発生させ、現在の水処理技術では分解が困難な「難分解性有機物」などを効率よく分解除去する方法です。



ZPV0-15

ピュアキレイザー[®]は東洋バルブ株式会社の登録商標です

【標準システム図】

ピュアキレイザーは通常循環系統の中でのろ過器の2次側(ろ過器を通過した後)にバイパス配管により設置します。ろ過器で処理された水はピュアキレイザーの中をワンパス(一方通行に通過するだけ)によって有機物の分解やレジオネラ属菌などの除菌を瞬時に行います。

